



児童の思いを引き出すのに役立つ「パペット」を使った道徳の授業を紹介いたします。パペットを授業で使うことを知らせると、パペットをいつ使えるのかを期待しながら、子どもたちは乗ってくれます。指導者が道徳的に望ましくない寸劇を見せて、「それは違う!」、「僕にやらせて!」とやる気を引き出してから、子どもたちにパペットを渡します。子どもたちは道徳的に望ましい態度を見せたいという意欲がありますが、どう表現しているかわからない児童のために、寸劇の前に望ましい行為は何かをみんなで確かめ、板書に残しておきます。支援が必要な児童にはパペットを使う時に板書を見ながらセリフを言えるようにし、望ましい行為への意欲付けを図ることができます。

◆「パペット」を使ったロールプレイ◆

事例①：にがてなたべもの

絵本「いわしくん」
修学院小教頭の鎌田先生に
紹介してもらった絵本です。
菅原たくや 作 文化出版局

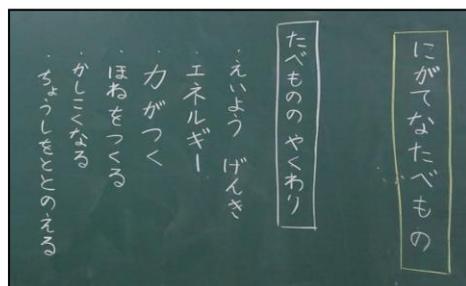


ぼくは、魚が苦手だなあ。魚に栄養があるってことは分かるんだけど……。



魚が苦手だから、食べなくてもいいよね。

だめだよ。魚には栄養があるんだから、がんばって食べようよ。



魚を食べるといいことを寸劇の前に話し合い、板書に残しておきます。



パペットで話すと、いいことをいいたくなっちゃうんですよ。



